

<要 旨>

生物多様性条約の目的である多様性の保全と持続可能な利用を進めるために不可欠な多様性構成要素である生物の目録づくり（インベントリー）をおこなった。北上市で記録された種数は、たとえば維管束植物では1125、哺乳類では30、鳥類では186であった。また、多様性構成要素のなかで重要なものとして、希少種や市民が利用している山菜等が特定された。2月7日に北上市で開催した生物多様性シンポジウムは、市民啓発に役立った。

1 研究の概要（背景・目的等）

1992年、生物多様性条約が採択された。締約国である日本は条約の責務を果たすべく取り組んできたが、その取り組みをさらに進めるために、2008年に生物多様性基本法を制定した。同法は、地方自治体は生物の多様性の保全と持続可能な利用に関する基本計画（生物多様性地域戦略）を定めるように努めなければならないとしている。

北上市において、そうした保全と利用を進めるためには、多様性構成要素である生物の目録づくり（インベントリー）、絶滅危惧種の抽出、農作物を含めた市民による利用状況といった情報が不可欠である。本研究では、こうした基礎情報の収集を目的とした。さらに、得られた成果を還元するとともに、生物多様性の重要性について北上市民を啓発する目的で、ワークショップとシンポジウムを開催した。

2 研究の内容（方法・経過等）

市内に分布する動植物の目録づくりに当たっては、既存の文献調査、野外現地調査、関係者からのヒアリングなどの手段を用いて、現状把握をおこなった。ワークショップは、2015年2月7日の午前に、シンポジウムは同日午後に、いずれも北上市内の現代詩歌文学館で開催した。

3 これまで得られた研究の成果

北上市にどのような生物が分布しているかを調べるために、既存の文献を調査した。文献としては、さまざまな雑誌に掲載されている論文や資料に依拠することにした。また、北上市立博物館など市内の専門機関・専門家による未発表資料も参考にした。表1は、そうして得られた北上市の生物の種数と岩手県全体の種数を比較したものである。岩手県全体の種数は、岩手県(2001)の『岩手県野生生物目録』を参考にした。これを見ると、岩手県全体でもともと種数の少ない分類群、たとえば、爬虫類、両生類、トンボ類などは、80%前後が北上市内に生息分布していることがわかる。これに対して、維管束植物、鳥類、鱗翅目（蛾と蝶）は、それぞれ50.6%、54.5%、37.0%と低い数値を示した。おそらく調査がより進めば、数値がもっと増加すると思われるものの、爬虫類などのように80%には到達しないだろう。なお、膨大な種数の生物がいることから、表に示したのは

表1. 北上市に分布する生物の種数

分類群	(種)		(%)
	北上市	岩手県	北上/岩手
維管束植物	1125	2225	50.6%
陸棲哺乳類	30	52	57.7%
鳥類	186	341	54.5%
爬虫類	14	17	82.4%
両生類	13	16	81.3%
淡水魚類	41	76	53.9%
昆虫類（鱗翅目）	1049	2835	37.0%
"（半翅目セミ科）	8	11	72.7%
"（蜻蛉目）	65	85	76.5%

一部の分類群のみであることを断っておく。

生物多様性条約では、多様性構成要素のなかで「重要なもの」を特定することとなっている。「重要なもの」として環境省レッドデータブックといわれてレッドデータブックに何が記載されているか、調べてみた。ここでは、いわてレッドデータブックの掲載種（情報不足種を除く）について記す。維管束植物では、北上に分布する115種（全体の約10%）がAランク～Dランクに分類されている。内容的には、ランの仲間、水辺や水中に生える植物、草原のような明るい場所を好む植物が絶滅のおそれが高いという傾向が見てとれた。

哺乳類では10種（33%）で、AランクとBランクには5種が掲載されている。5種のうち4種がコウモリ類であることが特徴である。鳥類は58種で、北上市で記録された186種の31%を占めている。このなかには暴風雨などの影響で一時的に迷行してきたものも含まれる。一方、北上市で繁殖していると思われる鳥では、たとえばクマタカがAランクに、コアジサシやオオタカがBランクに、アカショウビンやサンショウクイがCランクに、カワセミやサンコウチョウやノジコやチゴハヤブサがDランクに掲載されている。

このほかの分類群では、爬虫類の4種、両生類の7種、淡水魚類の2種、鱗翅目蛾類の7種、鱗翅目蝶類の10種、蜻蛉（トンボ）目の10種がAランク～Dランクに掲載されている。たとえば、爬虫類ではタカチホヘビがCランクに、ニホントカゲなどがDランクに、両生類ではトウホクサンショウオやクロサンショウウオがCランクに、カジカガエルがDランクに、淡水魚類ではハナカジカがBランクに掲載さ

れている。また、トンボの仲間のカトリヤンマがAランクとなっている。

「重要なもの」は希少種に限定されない。われわれ人間が利用しているものも含まれる。食料用に限らず、多くの生物をさまざまな用途に用いてきた。こうした生物多様性の恩恵を受けてきた証拠として、各地方に特有な名前がつけられていることが挙げられる。北上市でどのような地方名があるかについては、今後の調査に待ちたいが、岩手県の一戸町では植物305種に地方名がつけられていることが、文献調査の結果判明した。

多様性の恩恵である山菜も北上市では幅広く利用されている。ワラビ、クサソテツ、ウワバミソウ、ヨブスマソウ、モミジガサ、チシマザサ、オオバギボウシ、コシアブラ等々である。キノコ類も多様性の恩恵である。

北上市は西は夏油温泉から東は北上川まで、自然豊かな多様な環境を擁している。とは言え、生物多様性条約で言及されているような、生態系、生息地、ほかの種への脅威となる外来種も多数分布していることが明らかになった。そのなかで環境省が特定外来生物に指定し、飼育、栽培、移動等を禁止している動植物としては、淡水魚のオオクチバス、ブルーギルが、植物のアレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウが挙げられる。オオハンゴンソウは、ブナ林などの自然林に囲まれている夏油温泉でも目につく外来植物である。

北上市内の動植物の分布状況について、文献調査のみならず、野外現地調査も実施した。これらの調査結果は、現在、まとめている最中である。図1は和賀地区の水田で見られたオオハクチョウとマガンの群れである。雪消えが



図1. オオハクチョウとマガン。マガンはRDBのCランク

進むと、こうした水田は広範囲にわたり重要な採餌場所として渡り鳥に利用されていることがわかった。

2月7日には、市民啓発のために北上市内でワークショップとシンポジウムを開催した。「地域の財産(たから)再発見」と題するシンポジウムでは、中静透東北大教授、奥田直久環境省室長、矢浦希実県立大4年の基調講演の後、高橋敏彦北上市長、佐竹邦彦北上市立博物館専任研究員、及川紀久雄新潟薬科大学名誉教授を交えて、パネルディスカッションをおこなった(図2)。基調講演では、中静氏は

生物多様性がいかに日常生活にとって重要であるかを指摘した。奥田氏は、生物多様性に関する国と地方自治体の取り組みを紹介した。矢浦氏は、「北上市の生物多様性インベントリー」と題して、どのような種が北上市に分布しているかを報告した。シンポジウムの模様は、岩手日日新聞で広く報道された(地元北上市版では1面トップ)。

北上市生物多様性シンポジウムのお知らせ
“地域の財産(たから)”再発見
～身近な生きものからの恵み～



平成27年2月7日(土)
午後1時30分～4時30分
日本現代詩歌文学館 講堂
北上市本石町2-5-60 0197-65-1728

当日受付

第一部 講演 (13:40～15:00)
「毎日の生活から考える生物多様性」中静透(東北大学教授)
「生物多様性地域戦略とその策定状況」奥田直久(環境省生物多様性地球戦略企画室長)
「北上市の生物多様性インベントリー」矢浦希実(岩手県立大学総合政策学部4年)

第二部 パネルディスカッション (15:10～16:30)
パネリスト
及川紀久雄(新潟薬科大学名誉教授) 中静透(東北大学) 奥田直久(環境省)
高橋敏彦(北上市長) 佐竹邦彦(北上市立博物館専任研究員)

コーディネーター
金子孝止男(岩手県立大学教授)

パネル展(ホワイエイベント) 企業・団体等の取組みを紹介

主催 北上市・岩手県立大学地域政策研究センター
問合せ先 北上市後所環境課 0197-72-8281

図2. 市民啓発目的で開催したシンポジウムのチラシ

4 今後の具体的な展開

生物多様性の保全ならびにその持続可能な利用のための基礎情報として不可欠な生物目録作成を、既存の文献の渉猟により、さらに進める必要がある。その際には、生物の種名だけでなく、ラテン語の学名と記録された地点名も記すものとした。こうした目録は、北上市が将来、生物多様性に関する施策を進めて行くうえで貴重な資料となる。また、広大なブナ林が生育している夏油地区において、鳥類群集の調査を鋭意、おこなっているところである。何がただけではなく、どれだけいるかといった定量的なデータも収集している。ブナ林以外でも貴重な自然環境が残されており、生物にとっての重要な生息地を特定していく必要もある。それとともに、市民に対して生物多様性の重要性をさらに認識してもらい取り組みも必要である。

5 謝辞

情報収集に当たっては、北上市立博物館の佐竹邦彦氏、たかはし動物病院の高橋知明氏、北上市農林部農業振興課の協力を得た。また、矢浦希実さんはじめ金子研究室のゼミ生からはデータ整理、ワークショップ/シンポジウムの運営を手伝ってもらった。記して、感謝したい。